

第1回下野市地域公共交通会議の指摘事項

No.	修正前 該当頁	修正後 該当頁	内容	対応内容
1	1	1	下から9行目～：「..引き続き交通環境の整備の推進及び持続可能な地域公共交通に取り組む必要があるため、..」が対句になっていない	「..持続可能な地域公共交通の確保に取り組む..」に変更しました。
2	7	7	4行：「高齢者人口」定義が無い	「高齢者人口（65歳以上）」と定義を追記しました。
3	7	7	図3-5：「高齢化率」の定義が無い	高齢化率の簡単な説明と算定式を追記しました。
4	9	9	1行目：「..栃木県の割合と比べても低い水準」記述者の主観	「..栃木県の割合と比べて低い水準..」に変更しました。
5	9	9	2行目：「..市全域で著しく高まる..」記述者の主観	どの地区も2040年には高齢者の人口が増加することを示しました。
6	11	11	5行目：「..離れて点在しており..」分かりにくい	「..離れて点在しており（12ページ 図3-13 下野市の観光資源）..」に変更しました。
7	13	13	2～3行目：「..都市機能の多くは..公共施設については..」何が都市機能で、何が公共施設なのか、分からない	本文に合わせて、図3-14に凡例を変更しました。
8	14	14	1行目：「自動車」についてバス、タクシーも自動車であるから、分かりにくい	図3-15に示す「自動車」はシェアカー、ご近所や息子・娘の車への相乗り等も含まれます。その旨を追記しました。
9	14	14	5行目：「..栃木県と同様に..」不要な字句	削除しました。
10	14	14	3.1.6交通行動の説明中、世帯当たりの台数は...とあるが、世帯数の推移が示されていないため、分かりにくい。示したほうがよいのではないか。	図-3-16において、グラフに世帯数の要素を追加しています。
11	17	17	1行目：「および」は最後にもっていくべき。○、○、○、および○	「..鉄道、路線バス、広域連携バスおよびコミュニティバス（小山市）..」に修正しました。
12	17	17	人口に対するカバー状況説明中、「カバーされている人口は4割」⇔「空白地域となる6割の地域」の対比。6割を導き出すのに人口と地域ではおかしい気がする。次ページの表でも6割は交通空白地域の「人口」である。	「..約6割の人口をカバー..」に変更しました。
13	18	18	表3-3：数字にコンマを入れないと読みにくい	表3-3の数値に「,」を追加しました。
14	19	19	5行目：「休日は」外来診療がない...、7行目 外来診療がない「日祝日」... 統一したほうが	「..外来診療がないため便数が半数以下..」を「..日祝日は外来診療がないため便数が半数以下..」に変更しました。
15	19	19	8行目：最終バスの説明は次ページ表に基づくので「平日」の最終バスとしたほうが	「最終バスの時刻は...」を「平日の最終バスの時刻は..」に変更しました。
16	22	22	2行目、図3-21：「乗車人員」と「輸送人員」は不整合なため同じものを指すのであれば、同じ表現にする	輸送人員は輸送手段であるバスが運んだ人の数であり、乗車人員は駅単位の乗車人数の集計のため、それぞれ適した言葉を用いて表現しています。そのため、注釈で定義を明記しました。
17	24	24	1行目：「昨今の全国的な認識として、」は不要な字句	「昨今の全国的な認識として、」を削除し、文章を全体的に修正しました。
18	24	24	4行目、下段枠内：「運転者」と「運転士」は不整合同じものを指すのであれば、同じ表現にする	「運転者」に統一しました。
19	24	24	運転手・運転者・運転士とあるが、統一すべきでは	「運転者」に統一しました。
20	24	24	図3-24：このデータは、全国/栃木県/下野市 いずれのものなのか、分からない	タイトルにデータの内容を明記しました。
21	24	24	図3-25：このデータは、全国/栃木県/下野市 いずれのものなのか、分からない	タイトル及び出典にてデータの内容を明記しました。
22	24	24	下段枠内：一般論なのか、下野市内の事業者の「課題」なのか分からない	タイトル・出典にヒアリング対象を追記しました。
23	24	24	図3-24、3-25：円グラフの赤の点線に合わせ、10年後には定年退職の吹き出しも赤の点線で囲えないか	吹き出しを点線で囲いました。
24	25	25	1行目：「下野市では、デマンドバスや..」分かりにくい	文末に（表3-7）と参照す表名を明記しました。
25	25	25	1～2行目：「..送迎に公費により運行しています。」分かりにくい	「..は公費（各事業費）によって運営しています。」に変更しました。
26	25	25	3行目：「交通弱者」分からない	文章表現をわかりやすく変更しました。
27	25	25	表3-7：「交通運行者に対する支援事業」当該表と不整合	「運行委託先事業者に対する支援事業」に変更しました。
28	25	25	表3-7：「支援形態」不整合	「支援内容」に変更しました。
29	27	27	2行目：「HP」分かりにくい	本文中は「HP」を「ホームページ」に変更し、表3-11の下に出典としてサイト名を追記しました。
30	27	27	6～8行目：不要な情報（私企業の宣伝）	削除しました。
31	28	-	図3-27：不要な情報（私企業の宣伝）	削除しました。
32	30	29	図3-28：「自分の車」「車で送迎」は分かりにくい	図内は「自分の車」ではなく、「自分で車を運転」ですので、マイカー（自己所有車）に限定しているものではないため、現状維持にしています。また、文章は考察になりますので「自動車利用」を「マイカー」に変更しました。
33	31	30	図3-29：円グラフの3区分、MECEになっていない	円グラフの区分は、住民アンケートの選択項目ごとに回答割合を記載しています。そのため、鉄道部分の項目においては「鉄道をしらない」という回答が0%でしたので標記を省略しています。
34	31	30	説明文中、「利用している」は1割に満たない状況とあるが、利用者が路線バス2.4%、デマンドバス4.6%という5%にも満たない数字に対、1割に満たないという説明はしっかりこない。	他の考察と同様に、全体に対して、どのくらいの数なのかを示したいため、「..1割にも満たない..」と表現しています。
35	33	32	2行目：「..改善点は..」日本語としておかしい	ここでは、アンケート対象者に「路線バスについて改善してほしいこと」を聞いた際の回答傾向を示しています。本文の意味合いがわかりやすくなるよう文章を変更しています。
36	33	32	8行目：「..解消が期待できます。」意味不明	何が解消するのか変わりやすい文章表現に変更しています。
37	33	32	図3-31（→30）、表3-13（→15）：「n=18」と「21票」不整合	表3-13（→15）では路線バス利用者・非利用者を合わせた中で「路線バスで行きたい場所」を集計しています。その旨を注釈で追記しました。
38	31	33	4～5行目：「..周知不足が考えられ..」不整合そもそも仮説が1つでは、コンサルとして情けない	「..周知が不足している可能性があります。」に変更しています。
39	34	33	2行目、図3-32（→31）：「利用方法がわからない」「利用の方法がわからない」不整合	「利用の方法がわからない」に変更しています。
40	34	33	4～5行目：「..予約に関する課題があることがうかがえます。」データの解釈が不適当	「また、利用者、非利用者いずれからも、予約ならびに運行体制に関して課題を指摘されています。」に変更しています。

No.	修正前 該当頁	修正後 該当頁	内容	対応内容
41	35	34	回収数だけでなく総数（配布数）も載せるべき	調査対象人数が配布数となるため、「238人」と追記しました。
42	35	34	表 3 - 14 (→16)、図3-33 (→32) : 「回収数 215」 「n = 214」 不整合	アンケートの回答には設問によっては「無回答」「不明な標記」等、集計から除外される回答もあるため、集計数と回収数は異なります。
43	37	35	図 3 - 34 (→33) : 「各市の n 値 の合計は 195 = 215」 不整合	アンケートの回答には設問によっては「無回答」「不明な標記」等、集計できない回答もあるため、集計数と回収数は異なります。
44	38	36	3 行目 : 「... 公共交通の問題...」 不整合	「... 公共交通の課題...」に変更しました。
45	38	36	表 3 - 15 (→17) : 調査対象 「担当者」 意味不明	「担当者を通じて」を「承諾が得られた企業に...」変更しました。
46	39	36	3 行目 : 「... 実際多く利用されており、..」 記述者の主観	「... 約9割に利用されており...」に変更しました。
47	39	36	表 3 - 15 (→17)、図 3 - 35 (→34) : 回収数 680票と n = 662不整合	アンケートの回答には設問によっては「無回答」「不明な標記」等、集計できない回答もあるため、集計数と回収数は異なります。
48	39	37	中段 : (2) 公共交通に変更する場合の問題点不整合	「(2) 公共交通に変更する場合の課題」に変更しました (実際のアンケート表では「問題」と記載しています)。
49	39	37	最終行 : 「.. だと時間がかかる」も6割以上が回答している。日本語としておかしい	「... だと時間がかかる」との回答も6割を超えています。」に変更しました。
50	40	37	1 行目 : (3) 問題点が解決された場合の..不整合	「(3) 課題が解決された場合の...」に変更しました (実際のアンケート表では「問題」と記載しています)。
51	41	38	3 行目 : OD意味不明	ODの説明注釈を追加しました。
52	42	39	3 行目 : 「多い」「少ない」 記述者の主観	文章表現を変更しました。
53	42	39	図 3 - 3 9 (→38) : 赤や青の点線で囲っている部分の意味が分からない	赤・青の凡例を追加しました。
54	42	39	図 3 - 3 9 (→38) : 自治医大線 (平日) のみ注釈があるが、左下にあるので不要では	削除しました。
55	42	39	図 3 - 3 9 (→38) : その、左下の注釈の横にある 1 便あたり 1 0 人の利用等の 3 つのグラフの見方が分からない。表で読み取れるものではないのか。意味がわからない	図の見方の詳細を凡例にて示しました。
56	43	40	2 行目 : 「多い」「少ない」 記述者の主観	「多い」「少ない」の解釈を図3-39に追記しました。
57	43	40	休日データの説明のため、説明冒頭、「休日において」と入れるべきでは	「休日における、...」を追記しました。
58	44	47	表 3 - 17 (→20) : 「との流動」「への流動」 図 3 4 1 にかきにくい	わかりやすい表現となるように「...との相互の流動...」、「...への流出...」に変更しました。
59	44	47	表 3 - 18 (→21) : 「公共交通の整備状況」の「課題」 図 3 4 1 の説明と不整合	( ) 書きを削除しています。
60	44	47	表 3 - 18 (→21) : 「公共交通の運営状況」の「現況」 不整合	削除しています。
61	44	47	表 3 - 18 (→21) : 「公共交通の運営状況」の「現況」 不整合	事業者からも運転者不足を現況として挙げて頂いているので現状維持としています。
62	45	48	表 3 - 19 (→22) : 「住民アンケート」の「第2、3、4 枠」は「2割もいる」「低い」「感じている」「多い」等記述者の主観	表現を変更しました。
63	45	48	表 3 - 19 (→22) : 「企業アンケート」の「課題」 不整合	「様々な公共交通...」変更しました。
64	45	48	表 3 - 19 (→22) : 「路線バス利用実態調査」 「課題」の「バス運行便数の適正化」 意味不明	「需要に見合った便数での運行を検討する必要がある。」に変更しました。
65	52	56	タクシーを公共交通として位置づけ意味不明	「不特定多数の人が乗り合いで利用する交通手段とは違い、個別移動に利用されるため公共交通と見なされていなかったタクシーですが、...」を追加しました。
66	55	59	施策 1地域の需要に応じた...意味不明	デマンド (ニーズ) に応じたサービスの提供 (供給) という意味合いのもと「需要」としていただきますので、意味が分かりやすいよう「需要」から「ニーズ」に変更しました。
67	55	59	...セダン型車両の導入など、利用実態を踏まえた検討...意味不明	公費負担を考慮することは、全施策共通のことだと認識していますので、当該項目のみ明記することはせず、現状維持としたいと考えております。
68	55	59	...人材確保について官民一体で...意味不明	「...交通事業者だけの問題とせず...」と文言を追記しましたここでは、自治体と民間が連携するという意図のもと事業イメージを掲げています。
69	56	60	参考 : MaaS分りにくい	URLのリンクは随時変更される可能性があるため、ホームページタイトルを追記しました。
70	57-58	61-62	現状値の各指標の横に (2019年度) と書いてあるが、見出しとして右にある目標値 (令和7年度) のように、現状値 ( ) と表記したほうがよい	目標値に合わせて記載方法に変更しました。

12月15日以降の指摘事項

1	7	7	2 行目 : 平成20年より...と平成表記だが、グラフが西暦で分りにくい	「下野市では2020年より～」に変更しました。
2	9	9	表 3 - 1 : 2019年と2040年間の空欄は不要	2019年と2040年間の間を削除しました。
3	18	18	表 3 - 3 : 2040年のカバー圏人口割合と空白地域人口割合を足すと102.4%。100%を超えるのはおかしい。	空白地域割合を再度算出し、修正しました。
4	25	25	表 3 - 1 0 : R1収支率 B/A は × 3 4 , 6 ○ 3 5 , 1	収支率は「35.1%」に修正しました。
5	25	25	表 3 - 1 0 : C の説明がないので、意味不明。C/2 と C - (C/2) は不要、表 3 - 9 と同様にしたほうが分かりやすい。	C の標記は削除しました。
6	29	29	図 3 - 2 7 : 【買い物】と【通勤・通学】の徒歩の表示等、表の起点がずれている。	図の配置を修正しました。
7	41	41	3 行目 : 令和 1 年とあるが、他のページは令和元年	令和元年に統一しました。
8	41	41	図 3 - 4 0 : ゆうがおバスの他のグラフもそうだが、小数点第 1 位まででない。	図3-40以降の数値を少数第 1 位に統一しました。
9	41	41	n = 19 のグラフが合計 100.1%	数値の合計数等は既存資料の数値を引用しているため合計数の不整合は現行の通りとしたいと思います。
10	44	44	n = 24 のグラフが合計 99.9%	数値の合計数等は既存資料の数値を引用しているため合計数の不整合は現行の通りとしたいと思います。
11	56	56	デマンドバスの運行エリアの一体化説明中、2 行目 エリアを「跨ぐ」 5 行目 エリアを「またいで」を統一表記すべき。	「またぐ」に統一しました。
12	62	62	目標 6 のバス利用者数 現状値 (令和元年度) なのに、令和元年 1 0 月から令和 2 年 9 月の数字が入っている。あくまで元年度として 3 月までの数字を入れないと整合性がとれない。→獨協線 2,733 人、ゆうきが丘循環 232 人になる。	令和元年の数値を修正しました。これに合わせて目標値の修正も行いました。(獨協線 2800 人、ゆうきが丘循環 240 人にしました。)